

31 大分県高等学校新人空手道競技大会 実施要項

- 1 主催 大分県高等学校体育連盟 大分県教育委員会
- 2 期日 令和2年10月17日(土) 9:00 審判監督会議、 9:30 開会式、 9:50 競技開始 (女子競技)
10月18日(日) 9:00 審判監督会議、 9:30 開始式、 9:50 競技開始 (男子競技)
- 3 場所 杵築市文化体育館(杵築市本庄2005) [審判監督会議:アリーナ本部席前]
- 4 競技規則 (1) (公財)全日本空手道連盟制定の空手競技規定(令和2年度版)に準ずる。
(2) 競技の運用については、(公財)全国高等学校体育連盟空手道専門部の申し合わせ事項を適用する。
- 5 競技種目 (1) 団体種目 a) 男子団体形 b) 女子団体形 c) 男子団体組手 d) 女子団体組手
※団体種目は各校チーム対抗戦とする。
(2) 個人種目 a) 男子個人形 b) 女子個人形 c) 男子個人組手 d) 女子個人組手
※個人組手競技は下記の体重別階級制で実施する。(令和2年度より変更)
【男子】-55kg級、-61kg級、-68kg級、-76kg級、+76kg級
【女子】-48kg級、-53kg級、-59kg級、+59kg級
- 6 競技方法 (1) 組手競技は、団体種目・個人種目ともにトーナメント方式とする。
(2) 形競技は、団体種目・個人種目ともに審判員7名の得点方式とする。団体形は予選にて、個人形は予選1・2回戦と準決勝にて、決勝と3位決定戦選出チーム・選手を決定する。
- 7 参加資格 (1) 「令和2年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
(2) 令和2年度(公財)全日本空手道連盟および大分県空手道連盟の登録会員であること。
- 8 参加制限 (1) 団体組手のチーム構成は、男女それぞれ監督1名、正選手5名、補欠2名の計8名とする
(2) 団体形のチーム構成は、男女それぞれ監督1名、正選手3名、補欠3名の計7名とする
(3) 個人種目は、形・組手それぞれ監督1名で選手は男女とも種目ごとに1校20名以内とする。
- 9 参加申込 (1) 申込期限 **令和2年9月23日(水) 必着**
(2) 申込方法 大分県高体連webサイトより参加申込書をダウンロードして必要事項を入力する。
男女各1部印刷して押印し、下記宛先へ送付する。
なお、**承認を得た申込電子データを下記宛メールにて送信**する。
(3) 宛先 〒870-0104 大分市南鶴崎3-5-1 大分鶴崎高等学校 水江友和 宛
メール送信先: mizue-tomokazu@oen.ed.jp データ送信期限: 9月23日(水)12:00必着
ファイル名は R02県新人申込-学校名(例: R02県新人申込-大分鶴崎) とすること。
***大会参加に際しては、本人及び保護者の参加同意書を提出すること。**
- 10 参加負担金 選手1人あたり加盟校600円・非加盟校1,000円とする。(補欠含む) 大会当日受付で納入する。
- 11 出場権の獲得 下記該当校および個人に九州新人大会(兼 全国高校選抜大会予選会)の出場権を与える。
(1) 団体形・団体組手それぞれ上位4校
(2) 個人形種目は上位4名
(3) 個人組手種目は、男子は各階級の1位の者と、出場者数の多い3階級において2位の者に
出場権を与える。女子は各階級の上位2名に出場権を与える。
※各階級の出場者数により出場権決定の方法を変更する場合がある。(申し合わせ事項に記載)
- 12 組合せ抽選 (1) **令和2年9月24日(木) 13:00~ 大分商業高等学校(大分県高体連事務局)**
(2) 組み合わせ抽選は、専門委員により抽選基準に基づいて行う。
- 13 連絡事項 競技方法の細目は、本大会の申し合わせ事項(別紙)により定める。
- # 感染症等の対策 (1) 感染症等の対策については、別紙に掲げる周囲事項を遵守すること。
(2) 競技中の傷病など緊急時の対応については、救急体制に従って行動すること。

◆前年度からの主な変更点◆

- (1) 個人組手 男女とも階級を変更

◆今大会は無観客試合のため、保護者や関係者は試合を見ることはできません。

0. 競技規則

- (1) (公財)全日本空手道連盟制定の空手競技規定（平成31年度版）に準ずる。
(2) 競技の運用については、(公財)全国高等学校体育連盟空手道専門部の申し合わせ事項を適用する。

1. 団体形競技

予選にて得点方式により4チームを選出する。出場が4チームに満たない場合も、予選を行う。
予選の1位と2位で決勝を行う。予選、決勝において同点の場合は旗判定とする。
予選は指定形、決勝戦は予選で演じた以外の得意形とする。なお、決勝戦では形演武の後に分解演武を行う。
形と分解の演武は合わせて5分以内とする。（演武前の礼から分解後の礼まで。形と分解の間の礼はしない）
演武前の礼、演武後の礼をしない場合、決勝において5分を超過した場合は反則となる。

2. 個人形競技 【2019新ルール】

(1) 予選、準決勝

審判7名による得点方式で実施し、2名同時演武とする。欠場者が出た場合は詰めて実施する。
予選1回戦にて各パートから4名を選出する。予選2回戦にてAB(8名)、CD(8名)から各4名を選出する。
準決勝にてABとCDの2パート各4名から3名を選出し、上位1名が決勝、2位と3位が3位決定へ進出する。
準決勝の演武順は予選2回戦における得点の低い者から行う。同点の場合は抽選により決定する。
予選1回戦は第一指定形、予選2回戦は第二指定形、準決勝は得意形①とする。

(2) 3位決定戦

(1)の準決勝戦のABパート2位とCDパート3位、CDパート2位とABパート3位の選手により実施する。
演武順については、準決勝における得点の低い者を赤、高い者を青とする。同点の場合は抽選により決定する。
演武する形は得意形②とする。

(3) 決勝

(1)の準決勝戦の各1位2名により実施する。演武順については3位決定戦と同様とする。
演武する形は得意形②とする。

- ※1 各回戦で同点により次の回戦に進出する人数が、規定の人数を超える場合は得点比較により決定する。
- ※2 予選1回戦から決勝・3位決定までに、最低4つの形が必要である。
- ※3 指定形および得意形は空手競技規定の付録17および付録18から選択しなければならない。

3. 組手競技の安全具

以下の高体連指定の安全具を着用すること。

- 【女子】 正拳サポーター（全空連検定・赤青）、ボディープロテクター（高体連指定または全空連検定）、ニューメンホー（タイプVIまたはVII）、シンガード・インステップガード(高体連検定)の4点
- 【男子】 女子の4点にセフティーカップを加えた5点

4. 団体組手競技

- (1) トーナメント方式とする。
(2) 2回戦までは全員が競技を行い、3回戦以降は勝敗が決した時点で競技終了とする。
勝敗が決する場合は、勝敗数はもちろん、得失点差が11ポイントを超えた場合も含まれる。
(3) チームのメンバーが5名に満たない場合は、選手を先鋒から大将までの何処に配置してもよい。

5. 個人組手競技

- (1) 男女それぞれ下記の階級制とし、階級ごとのトーナメント方式とする。
ただし、一階級3名のみ出場の場合は、リーグ戦にて順位を決定する。
- (2) 出場者は全員、開会式前の指定した時間内に計量を受け、出場資格の確認を受けなければならない。
- (3) 階級表 着衣分0.5kgと計測器測定幅±0.5kgを考慮し、下記の通りとする。

【男子】	A	-55kg級 56.0kg未満	【女子】	A	-48kg級 49.0kg未満
	B	-61kg級 55.0kg以上 62.0kg未満		B	-53kg級 48.0kg以上 54.0kg未満
	C	-68kg級 61.0kg以上 69.0kg未満		C	-59kg級 53.0kg以上 60.0kg未満
	D	-76kg級 68.0kg以上 77.0kg未満		D	+59kg級 59.0kg以上
	E	+76kg級 76.0kg以上			

- (4) 計量についての注意事項
計量の服装は、男女ともに上衣はTシャツ（半袖）、下衣はスパッツ（ハーフサイズ）とする。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
指定した時間内に計量を受けない場合、参加申込書にて届け出た階級の体重区分に適していない場合（超過または不足）は棄権となり、個人組手出場の権利を失う。なお、他種目への出場は可能である。
※選手の健康面に配慮し、無理な減量や増量を行わないこと。
- (5) 九州新人大会（兼 全国選抜大会予選会）の出場権について（個人組手のみ）
 - 1) 女子は各階級の上位2名に出場権を与える。
 - 2) 男子は各階級の1位の者に加えて、出場選手数が多い3階級における2位の者に出場権を与える。
 - 3) 各階級で2名以下の出場者数になった場合や全国高体連推薦などによる場合は、原則として他階級へ振り分ける。詳細については、組み合わせ抽選時に専門委員会で審議して出場権を与える方法を決定し、各出

6. 確認事項

- (1) 九州新人大会への審判員派遣について
九州新人大会は九州高体連空手道専門部の申し合わせ事項により、各県より4名以上の審判員を派遣することになっています。
つきましては、参加校より派遣費が負担できる審判員1名を派遣いただくことを原則とし、学校の事情により審判員が派遣できない場合は、審判員派遣費を参加エントリー数に応じて負担いただくこととしておりま派遣審判員および派遣費が確定しましたら、改めて文書にてお知らせいたします。趣旨をご理解いただき、派遣費の納入をお願いいたします。

7. 感染症対策

- 別紙「感染症等の対策に関する留意事項について」を熟読してください。

感染症等の対策に関する留意事項について

空手道競技専門部

1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 参加する学校は、選手・監督の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること
- (3) 競技専門部は、競技役員等、来場者の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること。
- (4) 発熱等の症状がある場合は、参加を見合わせる。（当日の体調急変を含む）
- (5) 参加者は、マスク着用（息苦しさを感じた時は外す）、咳エチケット、こまめな手洗いなど、基本的な感染症対策を徹底すること。
- (6) 競技会場各所に手指消毒薬を、トイレ等には手洗い用石鹸を準備すること。
- (7) 大会は、無観客を原則とする。
- (8) 密閉を避けるため、定期的に会場の換気を行う。
- (9) 密集を避けるため、人が集まる場面では1～2メートル程度あけさせる。更衣室等の利用に当たっては短時間の利用とし一斉に利用しない。
- (10) 密接を避けるため、握手やハイタッチなど身体的接触をしない。近距離での会話や発声をしない。
- (11) 各専門部が作成する実施要項及びプログラム等に「感染症等の対策に関する留意事項」を明記すること
- (12) 感染防止対策を講じていても、県内の感染状況等に鑑み、急遽、大会中止や延期となる場合がある。

2 空手道競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

【 大会本部 】

- ・試合終了後は、速やかに次チームと入れ替わるように指示する。
- ・主催者で消毒液を用意し、会場内に設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・会場内のトイレに液体せっけんと消毒液を設置する。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の動線を区分する。
- ・競技中および事前練習中の選手を除く全員にマスクの着用を義務化する。
- ・来場者は会場入口に設置する来場者名簿に、氏名、所属、健康状態、入場時刻、退場時刻等を記入する。
- ・当日の朝、検温を行い、会場到着時に健康状態と合わせて申告を行う。
- ・来場者の連絡先は、大会役員および競技役員については専門委員長、選手については所属校顧問が把握するものとする。
- ・更衣室使用の際は前後に手指消毒を行い、入室は同時に4名までとする。
- ・待機場所は会場内後方または観覧席とし、集合整列はしない。
- ・次選手のみコート近くに設定する指定場所にて待機する。

- ・選手の観覧席における待機場所は、大会本部が座席を指定する。
- ・大会に出場しない部員を含めて、関係しない者の入場は認めない。
- ・観覧席の消毒は、離席時及び帰宅前に各自で行う。
- ・大会で使用する用具（机、椅子、競技用具など）は、使用前と使用後に競技役員および参加校顧問で消毒を行う。

【 選手・役員 】

《密閉》

- ・室内の競技会場、更衣室、控室等は、こまめな換気を行うので協力すること。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限する場合もあるので注意すること。
- ・空手道競技会場においては、熱中症の危険がある場合、空調設備を常時稼働する。

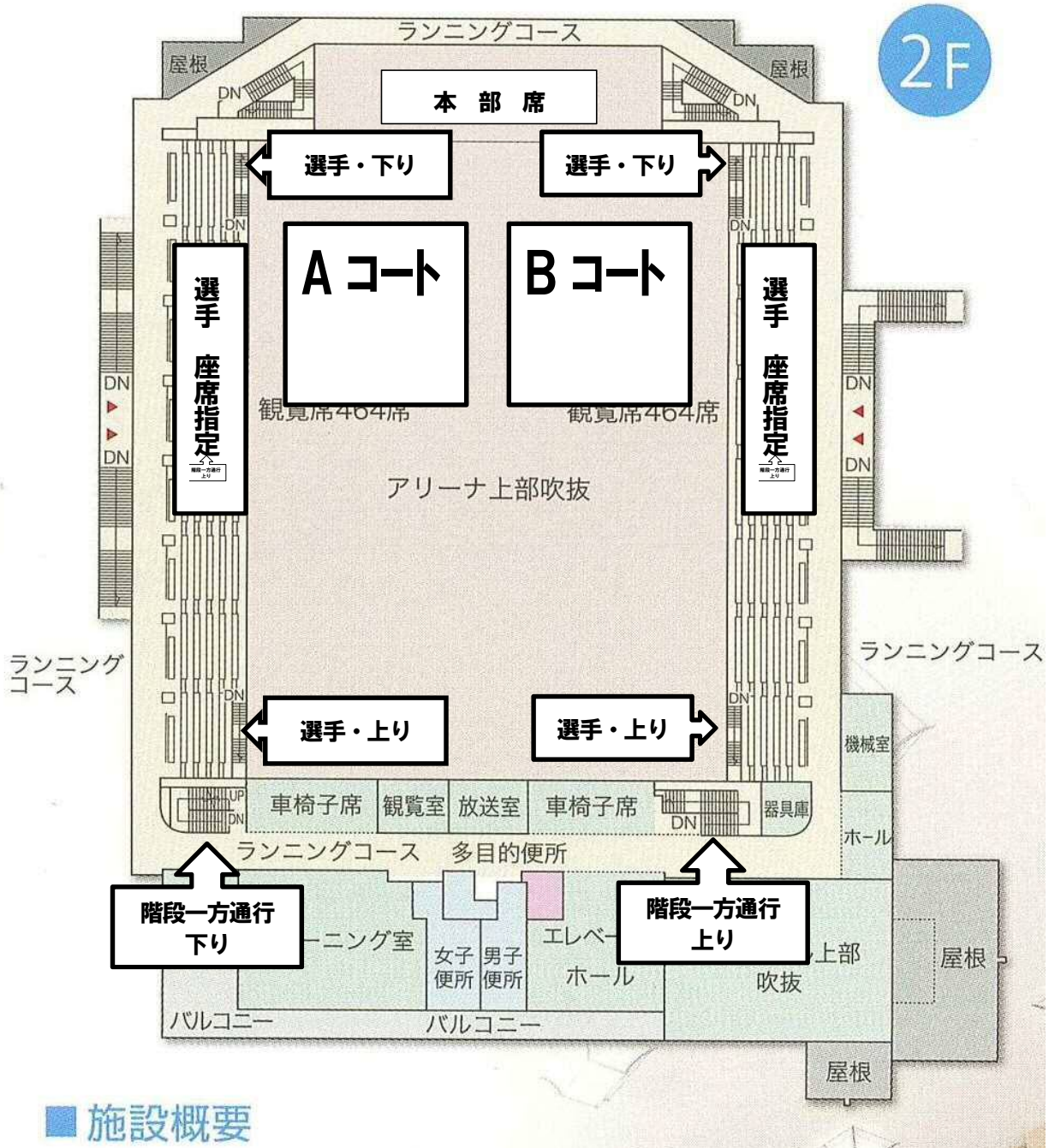
《密接》

- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2m保つこと。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどは避けること。
- ・競技終了時（特に組手競技）における握手は禁止する。

《密集》

- ・競技役員、補助員等の座席、観客席は、できるだけ2mの距離を保つこと。
- ・試合終了後は、速やかに観客席またはアップ場所へ移動すること。
- ・入場者を制限していますが、会場の動線は区分するので注意すること。

【会場図】 動線指定



令和2年度大分県高等学校新人大会 【空手道競技】 会場レイアウト図 [杵築市文化体育館]

★：手指消毒液設置場所 … トイレ、更衣室、選手待機場所、大会本部席

